

平成 29 年 7 月 3 日

羽曳野市議会議長 様

会派名

代表者名

議員名

吉田 恭輔



印

印

（平成29年度第1四半期）政務活動費収支報告書

羽曳野市議会政務活動費の交付に関する条例第10条第1項の規定により、政務活動費の交付の対象となる政務活動費に要した収入及び支出について、下記のとおり報告します。
記

1 収入

交付済額 円

2 支出

| 項目 | 金額 | 政務活動費を充てた主な経費 | ※ 第1四半期から 第4四半期の合計金額 |
|----------|---------|---------------|----------------------------|
| 調査研究費 | | | |
| 研修費 | | | |
| 広報費 | 133,100 | 市政報告印刷代 | |
| 広聴費 | | | |
| 要請、陳情活動費 | | | |
| 会議費 | | | |
| 資料作成費 | | | |
| 資料購入費 | | | |
| 計 | 133,100 | | |

※第4四半期の実績報告を行う場合は、第1四半期から第4四半期の合計金額を記入すること。

会派名

経理責任者

ⓐ

議員名

吉田 恭輔

ⓑ



| 項目 | | 広報費 | | |
|-----------|---------|---------|-----------------------|--------|
| 支払年月日 | 用途 | 金額 (円) | 内訳 | 添付書類番号 |
| 平成29年7月3日 | 市政報告印刷代 | 133,100 | 266,200円×1/2=133,100円 | 広報-1 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| (小計) | | | | |
| 合計 | | 133,100 | | |

様式第8号(第6条関係)

領収書等貼付用紙

| | |
|---|-----------|
| 支出内容 | 市政報告印刷代 |
| 支出額 | 266,200円 |
| ※按分する場合 支出額のうち政務活動費として計上する額 | 133,100円 |
| | (按分: 50%) |
| ※消耗品の場合 【使用場所の区分】 <input type="checkbox"/> 議会棟内会派控室 <input type="checkbox"/> 議員事務所 <input type="checkbox"/> 議会に届け出ている事務所 <input type="checkbox"/> その他 (所在地:) <input type="checkbox"/> 自宅内事務所 <input type="checkbox"/> その他 () | |

No. _____

領収証

H29年 7月 3日

吉田恭輔 様

| | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 金額 | | | | | 千 | | | 円 |
| | 4 | 2 | 6 | 6 | | 2 | 0 | 0 |



但し 新聞印刷代として

10,000枚

吉田議員に確認

上記の金額正に領収いたしました



PUT UP
style

株式会社 プットアップ・スタイル
〒610-0101 京都府城陽市平川横道8-19
Phone.0774-53-5300 Fax.0774-53-2122



領収証

吉田恭輔 様

参考

★ ¥162,000-

| | |
|----------|---|
| 内訳 | |
| 現金 | |
| 小切手 | / |
| 手形 | / |
| 消費税額等(%) | |

但し B4サイズ 5000枚 6月3日(土)
H29年 5月 31日 上記正に領収いたしました

収入印紙



朝日新聞河南販売(株)
ASA 恵我之荘
〒583-0885
羽曳野市南恵我之荘4-1-15
☎072-954-3044

吉田 恭輔 市政報告

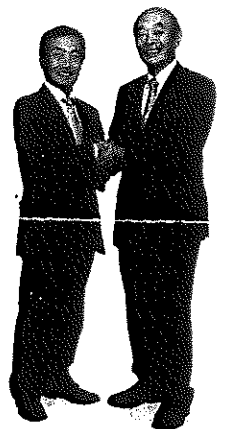
2017
夏号

発行所 吉田恭輔 羽曳野市はびきの3-1-12 TEL(072)958-3634



「市制60周年近し」

ごあいさつ



ずっと昔、そう、今から60年ぐらゐ昔のことです。

「羽曳野山ハイキングコース」と言われた羽曳野丘陵で、ブルドーザーとダンプカーが、土煙を上げて走り出しました。日本で最初のネオポリスが開発された。こんな田舎にも田中角栄さんの影がちらついていたと聞いたことがあります。後の日本列島改造です。

高度経済成長期と呼ばれる時代にはいつてきて、2町4村が合併し「南大阪町」から「羽曳野市」へと誕生したときでもありません。

日本中、みんなが汗水流して一生懸命に働きました。そして、今の豊かな「一億総中流」の時代がやって来ました。その日本の豊かさを築いてこられた方々が、今や高齢者と呼ばれるようになってきました。

先日、日本老年学会と医学会が、「65歳以上の高齢者の定義を、75歳にすべき」と提言しました。「65歳から74歳は、心身ともに元気な人が多く、高齢者とするのは時代に合わない」として、「准高齢者」と位置付けました。(ただし、年金支給はごまかさなで！)

自分の健康状態を見て、「なるほど」とうなづく人もいれば、首をかしげる人もおられるかと思えます。しかし、「元氣な高齢者が増えたのは確かです」。

そこで、今働いている人は別にして、時間のある人は、収入よりも「生き甲斐」重視で、羽曳野市シルバー人材センター(理事長 北川富和氏)に登録して働くのはいかがでしょう。

ここでは、「70歳、80歳は、働き盛り」という声も聞きます。力仕事や単純作業だけでなく、資格や経験を活かしたお仕事もあります。

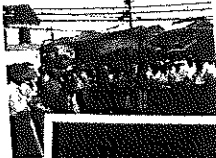
「自分がまだあてにされ、働く場所があるということが実感した。健康でいると誰かのために役に立つということが分かった。それが、財産」と話す人がおられます。是非とも挑戦してほしいと思います。

ハーイ！ 電話一本で「吉田恭輔」
よろしくお願ひ申し上げます。

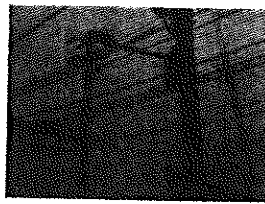
羽曳野市議会議員

吉田 恭輔

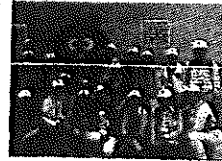
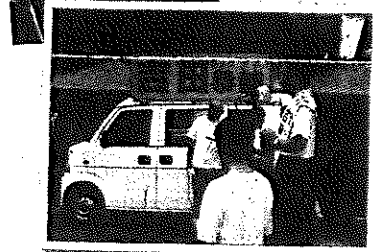
吉田恭輔の活動



がんばれ!
がんばれ!吉田!



八丁道に
防犯灯設置



▲駒ヶ谷でブドウ狩り

▼子ども会
ソフトボール大会
優勝チームと



地域行事にも
積極的に
参加しています。

盆踊り大会にて
ミスたこ焼き



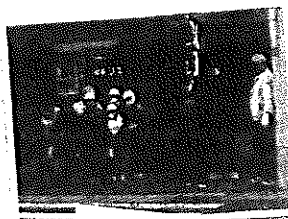
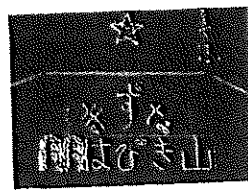
▲ふれあい祭りにて



▲盆踊り大会にて



長寿会で
ごあいさつ



登下校の
見守り活動

羽曳野の子供達の未来のために。



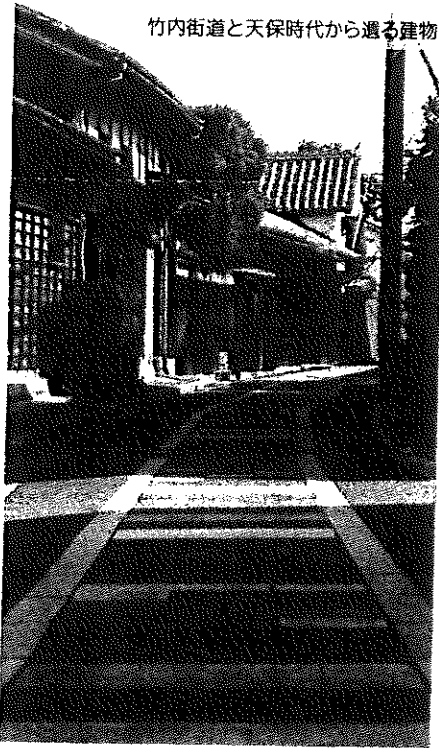
▲幼稚園児と
パークはびきやまにて



▲幼稚園児と
花植え式にて

03 日本遺産認定

1400年に渡る悠久の歴史を伝える「最古の国道」竹内街道・横大路(大道)が、日本遺産に認定される。



竹内街道と天保時代から遺る建物



百舌鳥・古市古墳群

歴史文化のまち羽曳野

01 世界文化遺産登録に向けた取り組み

百舌鳥・古市古墳群を世界文化遺産登録に向けて、登録推薦書の作成等を進める。市民はもとより、国内外を問わず多くの方々にも古墳群の価値を知っていただき、世界文化遺産登録に向けて機運を高める。

02 東西交通の幕開け

7月1日より毎週土曜日に羽曳野市役所と堺の大仙公園を無料のバスが走る。

平成29年第1回定例会 一般質問

吉田 質問 古市古墳群の魅力を実感できず、まちづくりビジョンと観光ボランティアの進捗状況は。

市長 答弁

コスモス畑の設置等で身近に感じることや、景観に配慮した案内看板の設置、こみが落ちていない美しい町をつくることも大切だと考える。

「羽曳野まち歩きガイドの会」を設立し、体験ツアーやまち歩きツアーの開催など自主的な活動を実施している。

吉田 質問 竹内街道の魅力発信と古市古墳群との連携については。

市長 答弁

フォトコンテストや街道祭り、ウォーキングマップや、古墳群の間に運行させるシャトルバスに竹内街道の資料を配置するなど、歴史資産をPRしている。

吉田 質問 平均寿命と健康寿命を近づけるための対策は。

市長 答弁

特定健診に生活習慣病に関する14項目を追加、糖尿病性腎症重症化予防事業の開始、きらきらシニアプロジェクトや介護支援サポーター事業、いきいき百歳体操などの取り組みを進めている。

吉田 質問 幼・小・中の校区編成の見直しについては。

市長 答弁

在籍数だけにとられず、中・長期的な計画のもと、地域性や利便性なども考慮し慎重に進めていく。

吉田 質問 黒字財政が続いている理由は。

市長 答弁

就任当時赤字決算が続いていたが、職員と一体となって財政健全化に取り組み、事業の選択と集中を行ってきた。

吉田 質問 本市の歴史を知る歴史資料館が必要。英断の時期では。

市長 答弁

既存の公共施設の活用も含め、歴史遺産を生かす施策を考える。

吉田 質問 障害者差別解消法への対応は。

市長 答弁

職員研修や広報による周知、パンフレットの配布を実施。大阪府などと連携を深め、着実に取り組みを進めている。

吉田の要望

世界文化遺産に認定された場合、道路整備、駐車場の確保、休憩所、食事、トイレ等々の整備が必要。外国語を話せる観光ボランティアの育成に取り組むべき。歴史資料館は是非とも必要。20年以上開催されていない校区審議会の開催を強く求める。歩道の傷みがひどく早急に整備することを求める。

吉田恭輔 プロフィール

昭和18年 3月 「はびきの」に生まれる。
昭和36年 3月 府立河南高校卒業(13期生)
4月 大阪市交通局に奉職
平成 5年 9月 羽曳野市議会議員初当選
市議会議員(2期) / 市議会監査委員
近畿市議会議長会会長 /
羽曳野区会連営委員長
柏羽藤消防組合議会議長
平成20年 4月 園遊会(赤坂御苑)に招かれる

【趣味】
読書、囲碁、ギター、考古学

